



中村小だより



練馬区立中村小学校
(3990) 4241
平成29年度 12月号

『開校70周年記念式典式辞』

校長 井上 靖

＜中村小学校 学校教育目標＞

- よく考える子ども
- さいごまでやり抜く子ども
- 明るく元気な子ども
- ◎なかよく助け合う子ども

12月号は、過日11月4日に挙行了しました開校70周年記念式典の式辞を掲載させていただきます。

(前略)

中村小学校は、昭和21年10月1日に豊玉小学校の分校として開設され、昭和22年4月1日に板橋区立中村小学校として開校し、同年8月1日の練馬区の独立により練馬区立中村小学校と校名を変更し現在に至っております。

70年前の開校当時は、戦後の混乱期で何もかもが不足している時代で、校舎は、飛行機工場の作業場の建物を譲り受けて建てられたバラックでした。教材教具も足りず、すべてに不自由し、毎日の授業に差し障る状態であったようです。しかし、「学校は地域の宝」であるとする地域・関係者の皆様による校舎の修理や教材教具の整備など献身的な協力をいただき、そのおかげで学校が成り立っております。

以来70年。10,473名の卒業生が巣立ち、現在は、946名の児童が、保護者やPTA、地域の方々に見守られ、楽しく学んでいます。

本校の教育目標は、「よく考える子ども」「さいごまでやり抜く子ども」「明るく元気な子ども」「なかよく助け合う子ども」の四つを設定しております。教育の究極の目標は、人格の完成にあります。本校の教育目標には、そのファクターである知・徳・体の特質と方向性が示されています。

これまで奉職なされた教職員の皆さんは、この教育目標の実現のために粉骨砕身、努力をされ素晴らしい伝統を築いてくださいました。教育目標の実現に向けた教育課程の編成と実践が実を結び、今日に至っております。

(中略)

さて在校生代表の6年生の皆さん。皆さんは、閑静な住宅と緑豊かな自然に囲まれた環境の中で、伸び伸びと学んでいます。中村小といえば、芝生の校庭、そして奄美・名瀬小学校との関わりが思い浮かぶと思えます。

芝生の校庭は、皆さんが知っているとおり、NGK、中村小学校・グリーン・キーパーズの皆さんが管理してくださっています。芝が根付いて12年目を迎えますが、定期的・定期的に学校に来られて、芝刈りや補植、

落ち葉拾いなどをしてくださっています。目や体に優しい芝生の上で運動したり学習したりできる喜びを毎日実感しています。

過日、4月29日に奄美からお贈りいただいた蘇鉄の株を植える植樹式を行いました。奄美との関わりは、その時も話をしましたが、奄美が日本に復帰した年、昭和28年に祝賀使節として中村小学校の代表児童2名が派遣されたことがきっかけで交流が始まりました。それから40年ほど空白の期間がありましたが、24年前から交流が復活し、現在に至っています。本日、70周年をお祝いして、名瀬小学校の校長先生、PTA会長様、児童代表として2名の子たち、計4名の皆様にご臨席をいただいております。誠にありがとうございます。

さて1か月余り前の運動会。

今回の運動会の合い言葉は「燃えろ、最後まであきらめず、強めよう絆を」でした。今回、私は出張以外すべての組体操の練習に参加し、皆さんを観てきました。始めは、逆立ちができない、サボテンができないなど個人技や二人技ができない子が大半いる中、「人間おこし」の技など絵空事のように思えました。しかし、練習の回が重なり日を追うごとに特別練習に参加する子が増えてきました。

何回も練習したのにうまくいかない、高いところが怖いなど演技に不安を感じ、自信を失いかけていた子が多くいたように思います。その不安を乗り越えさせたのは、周りの友達の温かい声かけと みんなで補助をするという行いでした。「大丈夫、頑張ろう」という声に励まされ、「補助をして私を守ってくれているんだ」という安心感が徐々に高まってきたように見えました。それらがいつの間にか、友達同士信じ合えるという関係に変わっていったように感じます。そして本番では、「千手観音」や「ウェーブ」、「花」そして「人間おこし」もすべて成功させました。終わったあとは、ご家族やご参観の皆さんの拍手を受け嬉しかったと思いますが、それよりも自分自身と友達の心にお互いに拍手し感動を分かち合った子が多かったのではないのでしょうか。私には、そのように見えました。

まさしく自分と友を信じ、助け合い、協力し合ってきた『強い絆』の賜物でした。これから卒業するまでの約5か月。絆を更に深め、中村小の仲間を誇りに思い、素敵な思い出をたくさん作ってほしいと思います。

(中略)

私は本校の校歌が好きです。曲調ももちろんですが、歌詞が素晴らしいと思っています。1番から3番までのそれぞれ4文節の歌詞が秀でています。「理想のまなびや そびえたつ」「希望のひかり あふれたり」「世界にかおる 花とせん」。

この校歌は、70年前に開校した当時の初代校長池沢 一志先生の作詞作曲です。困窮の時代でも未来を信じ、見据えて、後進に後を託した池沢先生の熱き思いと先見の明に対して心から敬服申し上げる次第です。歌詞の通りの学校には、まだ至っておりませんが、着実に前に進んでいると感じています。

これからも教職員一同は、70年の歴史と良き校風を受け継ぎ、新しい教育の方向性もしっかりと見定め、子供たち、保護者、地域の方々と共に理想のまなびやを築いていくことをお誓い申し上げて、開校70周年記念式典の式辞といたします。

平成29年11月4日

練馬区立中村小学校 井上 靖

12月の行事予定

1	金	音楽朝会 安全指導日 4時間授業 (研究授業のため1年3組5時間授業)
2	土	ふるさと中村音楽祭(会場:中村西小学校)
3	日	
4	月	全校朝会 委員会活動
5	火	連合音楽鑑賞教室(6年生) 2年生 火曜日6時間授業始
6	水	
7	木	
8	金	音楽会(児童鑑賞日)
9	土	土曜授業日(火木56) 音楽会(保護者鑑賞日) 学校評議員会
10	日	
11	月	全校朝会 音楽会会場片付け(5年生) 5時間授業A時程
12	火	社会科見学(4年生) 就学時健診予備日
13	水	避難訓練(3校時地震火災)
14	木	児童集会
15	金	
16	土	
17	日	練馬区小学校音楽祭
18	月	全校朝会 5時間授業A時程
19	火	
20	水	
21	木	社会科見学(6年生)
22	金	
23	土	天皇誕生日 PTAクリスマスバザー
24	日	
25	月	2学期終業式 給食終 4時間授業清掃後下校
26	火	冬季休業日始
27	水	
28	木	
29	金	↑ 校庭開放停止期間(1月3日まで)
30	土	
31	日	

〈12月の生活目標〉

「みのまわりを きちんとしよう」

平成29年もいよいよ終わりの月になります。生活の中で大きな区切りを付ける大切な1か月です。学習のまとめ同様に、生活のまとめもとても大切です。計画的に身の回りの掃除や整頓をし、清々しい気持ちで新年を迎えられるよう、指導してきたいと思います。

開校70周年記念式典

大成功に終わった記念集会に続き、11月4日には記念式典を行いました。教育長はじめ多くのご来賓の臨席を賜り、お祝いの言葉をいただきました。また、遠路はるばる奄美大島から名瀬小学校の校長先生、PTA会長、2人の代表児童がお祝いに駆けつけてくださり、2校の絆がさらに深まりました。6年生による「よろこびの言葉」は、アカペラによる「ふるさと」の二部合唱の澄み渡ったハーモニーから始まり、中村小の70年の歴史に感慨を深め、多くの方々に支えられたことへの感謝の念を抱き、未来への希望を込めたよびかけとなり、大きな感動を呼びました。中村小の児童代表として立派な態度で臨んだ6年生の皆さんにも拍手を送りたいと思います。

(70周年実行委員会委員長 中村瑞枝)

～芝生だより～

校庭は、濃い緑の葉が特徴の冬芝が多くなる時期になりました。現在、部分養生も行っていきますが、冬季の体育や行事、そして来年の春に向けて、冬の間もしっかりと芝生の管理をしながら、冬芝を楽しんでいきたいと思っています。

ご協力よろしくをお願いします。

